

ホスピスケアと在宅ケア71 Vol. 26 No. 1

目 次

巻 頭 言	地域包括ケアの主体としての住民	藤田 益伸	1
総 説	将来を想定した意思表示(事前指示)とアドバンス・ケア・プランニングの生命倫理	谷田 憲俊	2
原 著	公立の完全独立型ホスピスが始めた在宅医療の意義	原口 勝、他	11
	がんの再発・転移を告げられた患者に対し告知後初めての関わり時における看護師の関心の在りよう	平山恵美子、他	19
	地域住民による在宅ホスピスボランティア活動の現状と課題 ～在宅ホスピスボランティアA会の活動を通して～	堤 千代、他	28
	意思表示能力が低下した在宅療養者の家族に対する意思決定支援	石黒 沙耶、他	35
	在宅で長期にわたり夜間介護を行っている主介護者の休養のとり方の特徴	三村 未来、他	40
	サービス付き高齢者向け住宅で生活している高齢者の「生きがい」	伊藤 詔子、他	46
	多職種連携推進における職種間の相互理解の課題に関する検討	須永 恭子、他	52
短 報	介護老人保健施設での看取りからみたがん診療 －老健に出来ること、出来ないこと	須田 啓一	60
フォーラム	神戸フォーラム2017		63
文 献 紹 介	ナプロキセンによる腰痛治療に非ベンゾジアゼピン筋弛緩薬は無効	編集部	77
	男性医師より女医の方が優秀のようだ	編集部	78
今月号には			ii
会 告			iii
投稿のご案内	(改訂版)		v